

令和5年度 第2回八代市立博物館未来の森ミュージアム協議会 会議録

【日 時】 令和6年2月22日（木）14:00～16:00

【場 所】 八代市立博物館 講義室

【出席者】 協議会委員8名

【事務局】 教育部部長、教育部次長、文化振興課長補佐、博物館館長ほか職員10名

【次 第】

- 1 委嘱状交付
- 2 教育委員会挨拶
- 3 協議会会長及び副会長選出
- 4 議題

【議事並びに発言要旨】

(1) 報告事項

■ 令和5年度事業報告及び事業予定について事務局より説明

- (ア) 展覧会活動
- (イ) 教育普及活動
- (ウ) 調査研究活動
- (エ) 資料収集活動
- (オ) 施設設備の整備・改修について
- (カ) 2館入館割引チケットについて
- (キ) 入館状況

**会長** 事務局へ質問、ご意見がありましたらお願いします。

**委員** 協議会前に冬季特別展覧会を観覧したが、とても良い展覧会だと思う。  
資料18ページ「入館者集計表」の特別展覧会入館者数のうち、無料入館者内の「その他の数字」がとても多いがどういった方か。

**事務局** 中の展示は観ずにエントランスだけに入られる方となっている。建物の見学だけをされる方が結構多い。また、秋の展覧会開催中の11月3日と春の展覧会開催中の5月5日の無料入館日の1000人ほどの利用者も含まれる。

**委員** 資料15ページ「学校等見学の利用状況」の中で小中学生以外に高専八代キャンパスや八代高校、清流高校等からも見学に来ているようだが、どういった内容の見学なのか。また、17ページの「資料収集活動」に宮地手漉和紙関係とあるが、どういったものなのか教えてもらおうと地域の歴史を学ぶ機会になると思う。

**事務局** 高専八代キャンパスの見学については、建築を学んでいる学生にとっては博物館は興味深い建物なので建築を見るという目的で来ている。高校生以上は基本有料となっているが、若い世代にも博物館を利用してもらうために学校の授業として見学する場合は減免になるという呼びかけを以前からおこなっている。しかし、中々利用が少ない状況だが、こちらから出前講座に出向いた学校が次年度に見学にきてくれていて段々と高校生以上にも広まってきたと感じている。中学校、高校でも地域の歴史を学ぶという授業があった際に博物館に来ていただいている。

手漉和紙資料については、元々永く寄託されていたもので、後継者不足や代替わりにより管理する人がいなくなったという事で寄贈されたものになる。内容は、刷毛や包丁、張り板などの手漉和紙を作るのに必要な道具類となっている。また、江戸時代から続く御用紙漉なので先祖附や紙の売買に関する古文書類も豊富に残っている。

～ 引き続き事務局より説明 ～

(2) 協議事項

- 令和6年度事業計画(案)について
  - (ア) 博物館の改修について
  - (イ) 休館中の博物館事業について
  - (ウ) 再会館に向けた準備について

**会長** 事務局へ質問、ご意見がありましたらお願いします。これから取り組む内容なので是非ご助言、ご意見をいただきたい。

**委員** 以前から言っているが、エレベーターがとても不便である。いったん裏から入って案内をしてもらわなければならない。外付けはできないのか。利用者は高齢化しており車椅子ではあの坂は登れない。諦めて帰る人もいる。設計上無理だと言われるがなんとか考えてほしい。都会では外付けのエスカレーターも見かける。

先日博物館で作品展を開催したが、展示用の台など展示用の備品が少ないのもっとあったほうが良い。壁やパネルが汚れているので改修に併せて交換するよいチャンスでは。この博物館は一般の作品展を行うには作品の搬入がしやすく、照明・天井の高さ等とても便利が良い。もっと宣伝をして外からの利用者と呼ばばもっとユニークな博物館になると思う。

また、カフェの出入店条件はどうなっているのか。ここは景観が良い場所である。博物館の利用者だけでなくわざわざカフェの利用に外からきてもらえるように募集の条件はなっているのか。

**事務局** パネルについては、今回の改修では展示室を中心に考えているので移動壁面などを変える事を検討している。

この建物が建った時代がユニバーサルデザインの出始めの時期であり設計者が最先端の考えを取り込んだと思うが、今の時代では優しい建物とは言えない状況となっている。前々から外付けエレベーターの話は出ているが、予算の兼ね合いから難しい状況である。庁内でも検討した結果、今回の改修では空調を優先させることになった。しかし、今後施設の長寿命化に向けて50年以上使用するという判断になった場合はエレベーターの改修を考えていかなければならない。現在は警備が誘導し来客用のエレベーターを利用して受付に案内をしているが、入りづらいとか分かりにくいという声をいただいているので、今度の工事で裏口を整理する際に、わかりやすい案内看板、サインを取り付けて入りやすい入口にする予定である。

カフェについては、コロナの時に臨時休館をしてそのまま閉店をしたので、2年前に3回募集したが条件が合わず、今年も話はあったが条件やタイミングが合わずにいる。再開館の際にはカフェを入れる方向で進めていきたいと考えている。

**委員** エレベーターは予算的に無理との話だが全体の予算はいくらなのか。

**事務局** 来年度が約4億、全体で11億円超えとなっている。

**委員** 予算の精査はしていると思うが一般的に公共施設は高すぎる。本当にこれだけかかるのか確認してほしい。業者の言いなりではダメ。エレベーターの予算は出てくるはず。

**会長** いくつか要望が出たが、事務局としては精一杯取り組んでほしい。

**委員** 高齢の母を車椅子で、春の「堅山南風展」に連れてきた時にもっと簡単に外からエレベーターで上がったらいいなと思ったが、とても丁寧に案内をしてもらってありがたかった。市の予算が厳しいのはわかっているがわかりやすい誘導の工夫が必要である。車を停めた場所からエレベーターまでのアクセスがわかりやすい表示をして、休館中から広報等でそれを宣伝し、ぜひ博物館に来てくださいという周知をするといういかと思う。

和紙の話だが、宮地校区では卒業証書を和紙で手作りする体験をしていたが、指導をしていただいた方が亡くなって博物館学芸員等に協力してもらってなんとか継続できていて、息子さんに土日に協力してもらっている。宮地校区は30人前後なので体験出来ているが、八代は和紙の産地として重要だと思うので体験をもっと他にも出来ないかなと考えている。せっかく道具があるのなら再開館後に他の校区でも博物館の企画で体験が出来ないか。

**事務局** 車椅子利用についてのご意見ありがとうございます。わかりやすい誘導、表示について工夫をしていきたいと思う。

和紙については資料が揃ってきているところである。宮地小、八中には出前講座で行っており、学校の発表会を見学して子供たちが地元の伝統文化を学んで大事にしようという気持ちが伝わり、和紙づくりの継続に関わっていけたらと思ったところである。地元の中にも伝統を繋げていきたいという方もおられる

ようなので情報収集を密にして方法を探っていきたい。

**委員**

私たちは将来エレベーターのお世話になる。その時に必要性がわかると思う。健常者のうちは不便さを感じない。八代の学校にもいくつかの学校にはエレベーターがついているがほとんどの学校にはついていない。私はエレベーターのない学校に勤務をした経験があるがとても苦勞をした。エレベーターがあればこの子どもたちもだいぶ楽だろうと思うことがよくあった。資料18ページの入館者集計表を見ると無料入館者数14,835名のうち身障者は211名と明らかに比率が低い。これはエレベーターがなく気軽に入館しづらいためというのは間違いない。エレベーターをつけるためにこういう数字を表に出して必要性を訴え予算を獲得する努力をして是非エレベーターをつけていただきたい。そして、エレベーターをつけた事により身障者の割合が高くなればつけた事によりみんなの幸せにつながり、学校にもエレベーターが付きやすくなるのかなど考える。

**事務局**

ご意見ありがとうございます。今回の工事では古くなった設備の改修がメインになるのでエレベーターの部分までは叶わなかったが、今後次の段階の改修では予算を要求し続けていきたいと思う。今回は、ご意見いただいたように、出来るだけわかりやすい表示で車椅子や身体が不自由な方が気軽に入館出来るように心がけたい。出来ない部分は親切な対応でカバーをしていきたい。

**委員**

私は高齢者の団体に所属しているので常によそではエレベーターを使用しているが、外付けエレベーターをつけられないならば、はっきりと誰でも中のエレベーターを使えますよという案内表示をすればかなり解消するのではないかと思う。

**委員**

エレベーターの動線については工夫によってより使いやすいように改善策を検討していただきたい。

**委員**

改修の内容にエレベーターの更新とあるがそれはどういったものか。

**事務局**

荷物運搬用と利用者用エレベーターのことで、この2機は現在、部品を作っていない事から今回は入れ替えとなる。

**委員**

それは相当お金がかかるのでは。それなら外付けのエレベーター設置はどうにかならなかったのか。

**事務局**

今回、外付けのエレベーターについては検討を行った。しかし、動線を確保するためには収蔵庫や事務室等の場所を変更する必要があり、エレベーターをつけるだけではなく全体的に大きな工事になり費用がかかるので今回は難しいという事になった。今後、建物躯体について調査し判定結果を受けて改修の必要性が出た場合は、全体的な改修として今回のエレベーターの件を踏まえ検討をしていく。

**委員**

今回の大改修の前はいつ改修を行ったのか。

**事務局**

大規模な設備改修は行っていない。熱源のオーバーホールや外壁の修繕等しか行っていない。

- 委員** こまめに修繕を行っていけば長持ちをする。いきなり大規模改修をするから予算が高くなる。博物館だから長く持たせなければいけない。頑張って予算をとってください。
- 会長** 委員のご意見を受けとめてがんばっていただきたい。
- 委員** 休館中の活動について、館は閉まっているが展示活動や講座等の情報を広報して広く発信してほしい。また、改修についてはファンドレイジング（※）の考えもあるのでは。市内には大きな企業がある。大きな企業の社員と繋がりが出来たら、企業からのスポンサーや支援でエレベーターやエスカレーターをつけてもらえる大きな企業が現れるかもしれないし、駐車場の整備もしていただけるかもしれない。もしかしたら八代市のために何か応援したいと考えている企業もあるかもしれない。市の商工の担当課と連携していけばそれぞれのメリットにもなり発展していけるかもしれない。市の予算だけでは無理がある。  
（※）ファンドレイジング…資金調達のこと。博物館の場合は、入館料、寄付金や補助等をさす場合が多い。
- 事務局** 他の博物館では寄付等で運営している博物館もあると聞いている。日本博物館協会の研修で資金調達の講義等もやっている。出来ることは積極的に取り入れていきたいと思う。
- 会長** 報告事項、協議事項共に終了したので、事務局にお返しします。
- 文化振興課長補佐** 博物館とでんでん館は先ほど説明にあったとおり2館周遊事業を行っているが、博物館が休館になるのと同じ今年7月からでんでん館の入館料を無料にする条例改正案を本会議の3月定例議会に提案している。  
博物館が再開館をした折にはでんでん館は無料化になっているので周遊方法をどうするか2館で検討しなければならないと思う。
- 教育部長** 本日は色々きびしいご意見をいただいたが応援をする立場からのご意見と思っている。博物館は30年にして初めての大きな改修となるが、この改修を行うにあたっては市全体として優先順位等を検討しだいが苦勞をして改修にこぎつけたところである。これをクリアしないとその先がないという事で、まずは空調設備などの基本的な設備をしっかりと改修するという事を主に今回は工事を行う。市としてもエレベーターはどうにかならないか検討したが今回は入れ込めなかった。次の駆体調査を踏まえて何十年後かに改修を行う時は是非エレベーター等を盛り込めるように今のうちから準備をしていきたいので応援をよろしく願いしたい。

## 5 館長謝辞

～ 16時00分 閉会 ～